

WHEN &
WHERE

第15回日本脳神経核医学研究会 プログラム

The Japanese Council
of Nuclear Neuroimaging

日時：平成26年11月8日(土) 13:15-16:20

会場：大阪国際会議場 第6会場(10階1004-1005)

URL：<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

研究会 ご案内

テーマ：「マルチモーダルアプローチの重要性 –他の画像診断を学ぶ–」

脳核医学は、脳波と並んで生体の脳機能を観察する手段として長年重要な役割を担ってきた。しかし近年、MRI、超音波、MEG、NIRSなどの進歩はめざましいものがあり、目的によっては核医学に代わって使われることも多くなった。一方、核医学も、パーキンソン症候群の鑑別にI-123 MIBGやDAT scanが臨床に使えるようになり、また、アミロイドイメージングやタウイメージングなどの検査が臨床に用いられる日も近いと考えられる。このように多くの手段を臨床に使えるようになったことは喜ばしいことであるが、同時にその使い分けを問われる時代となってきた。これからは、一つの手法に固執せず、他のモダリティについても精通し、相補的に使い分けることがきわめて重要である。

本研究会では、MRI、超音波やNIRSの現状や将来性を学ぶことを目的とし、各分野の一線で活躍する先生にご講演を賜ります。核医学の専門である司会者を交えて、今後の脳検査の方向性を議論する予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

総会 13:15～13:30 受付は13:00より開始いたします。昼食が出ます。ただし、先着順で無くなった場合はご容赦ください。

開会挨拶 橋川 一雄(大阪医療センター 脳卒中内科)

講演会 13:30～16:20

座長：中川原 譲二(国立循環器病研究センター 脳卒中統合イメージングセンター)

橋川 一雄(大阪医療センター 脳卒中内科)

1.基調講演 13:30～13:40 中川原 譲二(国立循環器病研究センター 脳卒中統合イメージングセンター)

2.高磁場MRIによる脳画像診断の新しい展開 13:40～14:20
佐々木 真理(岩手医科大学医歯薬総合研究所 超高磁場MRI 診断・病態研究部門)

3.神経超音波の最近の話題 14:20～15:00
齋藤 こずえ(国立循環器病研究センター 脳神経内科)

4.臨床応用に向けた近赤外分光法(NIRS)の進歩 15:00～15:40
三原 雅史(大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学)

5.パネルディスカッション 15:40～16:20
各演者と座長

閉会挨拶 岡沢 秀彦(福井大学高エネルギー医学研究センター)

* 本研究会は、日本脳神経核医学研究会会員を対象としています。会員の方は、当日受付にて次年度会費3000円を徴収させていただきます。非会員の方で、本研究会入会希望の方は次年度会費3000円(入会費は徴収していません)をお支払い頂ければ、今回の総会・講演会から参加して頂けます。また、非会員の方で今回の講演会のみ参加希望者は、講演会参加費として3000円を徴収させていただきます。

本研究会についてのお問い合わせ、入会の申し込み等は下記研究会事務局までお願いします。

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

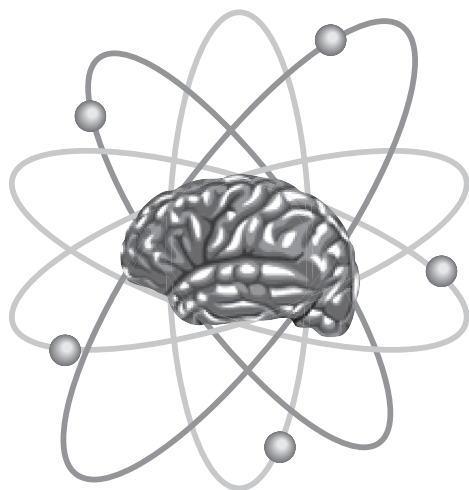
大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

担当: 伊藤

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1243 Fax: 03-3502-1888



JCNN

CONTACT